

8. やってみよう

◆^{かんきょう}環境ラベル^{さが}探し

わたしたちは、たくさんの製品を使いながら生活しています。最近^{さいきん}は、リサイクル製品や省エネ型の製品など環境にやさしいものが増えてい

ます。そのような製品がすぐ分かるようなマークがあります。それを「環境ラベル」といいます。環境ラベルは印刷されていたり、シールが貼られていたりします。

わたしたちが使っている製品のうち、どんなものに環境ラベルがつけられているかを調べてみましょう。

■^{かんきょう}環境ラベル^{れい}の例

■エコマーク



エコマークは、環境保全に役立つ商品につけられているシンボルマークです。

■グリーンマーク



グリーンマークは、古紙を有効に利用して、森林資源をまもり、緑豊かな暮らしをはぐくむシンボルマークです。

■^{さいせい}再生紙使用マーク



古紙配合率100%再生紙

再生紙使用マークは、再生紙の利用を高めるため、古紙の配合率が表示されています。

■^{しょう}省エネルギーラベル^{れい}の表示例



目標年度 〇〇〇年度

省エネ基準達成率

117%

年間消費電力量

246kWh/年



目標年度 〇〇〇年度

省エネ基準達成率

90%

年間消費電力量

320kWh/年

■^{しょう}省エネ性^{せい}マーク

省エネ性能の優れたテレビや冷蔵庫、温水機器などの製品につけられるマークです。

省エネ基準達成率 100%以上の製品には緑色のマーク、100%未満の製品にはオレンジ色のマークを表示します。

◆川にすむ生き物の観察

川は、山から平野をとって海に流れ込んでいます。

同じ川でも流れている場所ですんでいる生き物が違います。みなさんの近くの川にすむ生き物はどんなものが多いか調べてみましょう。

■持ち物

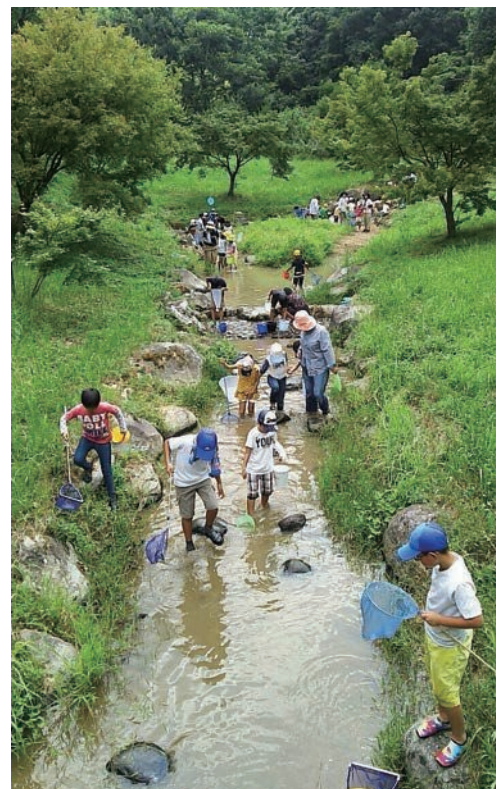


約束しよう

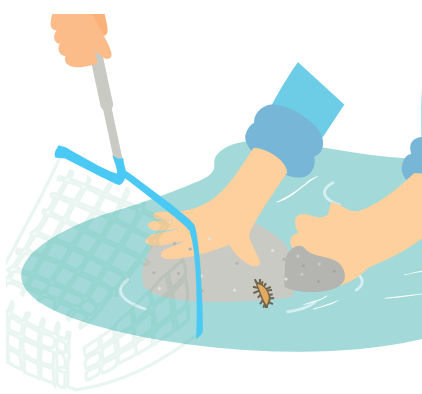
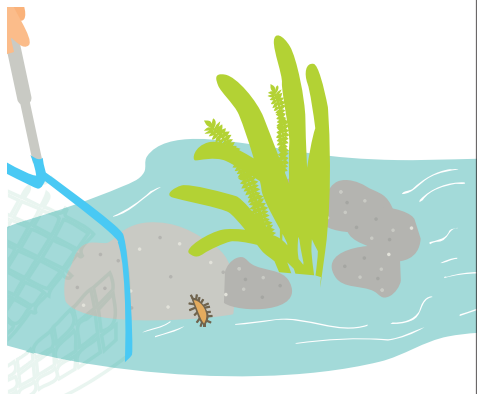
- 川へは大人の人と一緒にいっしょに行こう。
- 生き物は大切に扱おう。
- 観察したら元の川に戻してあげよう。
- ごみは持ち帰ろう。



佐賀県環境サポーター派遣事業
「川遊びと自然観察」の様子



■調べ方

①  川の中の石を手で取り、石についている虫をピンセットで取る。	②  石の川下に網を構える。石を手でこすり、流れ出す虫を網で受ける。	③  水草をゆすって、流れ出す虫を網で受ける。 川底が泥の所は泥ごと網ですくう。
---	---	--

◎生き物が教えてくれる川の様子

川の様子	川底の様子	すんでいる魚	すんでいる水生生物
きれいな川	砂や小石がはっきり見える	ヤマメ カジカなど イワナ	サワガニなど カワゲラ
少しきたない川	藻などにおおわれている	サケ カマツカなど アユ	カワニナ
きたない川	ミズワタが少しある	ナマズ ゲンゴロウ ブナなど コイ	ミズムシ タニシ
大変きたない川	ミズワタがたくさんある	生息できない	セスジユスリカ サカマキガイ

◆野山の観察

わたしたちの近くの山や野原などにはたくさんの生き物がすんでいます。
どんな野鳥や昆虫がどんなところにすんでいるかを調べてみましょう。

■持ち物



そうがんきょう
双眼鏡

暑くても
長そで
長ズボンで

長ぐつ

ぼうし

約束しよう

- 観察は大人の人と一緒にしよう。
- 石を投げたり、木をゆすったりして動物を驚かせないようにしよう。
- 草花を折ったり、抜いたりしないようにしよう。
- 動物の卵や巣は、そっとしておこう。
- ごみは持ち帰ろう。



佐賀県環境サポーター派遣事業「植物観察会」の様子

◆^{かんさつ}星空の観察（スターウォッチング）

空気が汚れると星が見えにくくなります。また、^{がいとう}外灯やネオンサインなど町の中の光が増えても、星が見えにくくなります。

空気のすんだ野山と町の中、晴れた日の続いた後と雨上がりなどで、^{つづ}星空の見え方の違いを観察してみましょう。

^{せいざ}星座を決めてよく見ていると、わたしたちにも星空が見えやすい場所などがわかるようになります。

約束しよう

- ^{かんさつ}観察は大人の人と一緒にしよう。
大声で騒がないようにしよう。

